

『児童が「解きたい！」と思える授業づくり (タブレットの有効活用) から自らの学びを活かす力の育成』 ～10年後も活用できる力を～

研究内容と方法

- ・タブレットを有効活用することで学びへの意欲向上を図る。
- ・タブレットを使うことを通して、児童の「やってみよう」の意欲から「解きたい！」と思える授業づくりの実践へつなげる。
- ・児童アンケートを実施。(タブレットのロイロノートを活用した算数アンケートの継続。)
- ・児童アンケートのみならず、児童の振り返りをタブレットのロイロノートを活用しデータの蓄積とともに変容の分析を視覚化し、具体的な手だての検討をする。
- ・教師の指導力向上として、単元構想シートを活用し、つけたい力の明確化・学びを活かす力の育成とタブレットを積極的に活用する意識づけを図る。

毎日チャレンジプリント 単元構想シート

わくわくチャレンジ

タブレットミニ研修



単元構想シート(4年)			
単元名	垂直・平行と四角形		
単元目標	2直線の位置関係について、垂直・平行の意味を理解し、四角形を平行な辺の組の数で分類してその特徴を調べることを通して、四角形について理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。		
時数	つけたい力	「解きたい！」と思える授業の工夫 (タブレットを含む)	学びを活かす視点
1	交わってできる角が直角にある2本の直線について調べよう。	実際に地図に薄い紙を当てて写し取らせる。	平行四辺形、ひし形、台形などについて、数的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討し、生活や学習に活用しようとしているか。
2	のぼしても交わりそうにない2本の直線について調べよう。	実際に地図に薄い紙を当てて写し取らせる。 ◎身の回りの平行や垂直を探し写真を撮り交流する。	
	平行な2本の直線について、ど	三角定規や分度器を使って調べ	



他校や他地域への普及方法

- ・授業公開日を設定するのではなく、日常いつでも来校いただいたときに授業が参観できる環境づくりを進めます。
(教務による授業把握を基に、タイムリーな授業を参観可能に)
- ・重点研究会のみならず、理論研修会や毎月実施のタブレットミニ研修は誰もが参加可能。
- ・研究発表では、タブレットを活用した授業実践の様子を動画に撮り、活用例として提供する予定。
本校の重点研究の取組の様子等もWeb上で発表できるように考えています。